

富山経協



サクラソウ (解説・18ページ)

CONTENTS

- 2 年度初めのご挨拶
- 3 2020年度 事業方針
- 4 2020年度 年間事業活動計画表
- 6 2020年度 委員会活動紹介
- 9 労働法改正等ワンポイントアドバイス
- 10 Top Interview
日本オープンシステムズ 大蔵政明社長
- 12 調査報告
2020年4月新卒者等の採用に関する調査
- 14 事業活動報告
理事会、幹事会、連合との懇談会
- 16 委員会活動、見学会
- 17 講座・セミナー
- 18 新会員の紹介
- 18 会員の動き
- 19 労働指標
- 20 おしらせ・事業予定



年度初めのご挨拶

一般社団法人 富山県経営者協会

会長 金岡 克己

昨年10月の消費増税後の実質GDPは、年率-7.1%（3月9日2次速報）の大幅減を記録しました。一方、2月20日の内閣府月例経済報告は、「景気は緩やかに回復している」と述べています。新型コロナウイルスにより、中国の交通の要衝、人口1,100万の武漢が1月23日に交通封鎖されました。他方、1月28日指定感染症に指定した際の厚生労働省の発表は、「国内では人から人への感染は確認されていない」です。

インターネットの飛躍的發展により、情報に接する機会が増え、同時にフェイクニュースも増えています。昨年のNHK紅白歌合戦に登場したAI美空ひばりが新曲を歌う姿、何が本当なのか、一般の人にはすぐに分からない時代を迎えたということでしょう。

印象操作で事実を曖昧にしようする姿勢は、戦時の大本営発表を想起させます。それにしても、新型コロナウイルス対策で小中高一斉休校が打ち出されたのには驚きました。学校教育法に基づき体系的に管理され、保健室、給食が整う広い小学校を休校とし、設置基準、運営体制が脆弱で、狭い学童保育に預けることを推奨しているのですから。

感染が全世界に拡大し、社会、株式市場が混乱。アメリカ、日本とも歴史的な下げ幅を記録しました。また、東京オリンピック・パラリンピックが1年延期となりました。WHOのパンデミック宣言、イベント自粛が相まって、飲食業や観光業など底知れぬ打撃を受けることでしょう。終息が不透明で実体経済への影響が大きい分、ミニ恐慌の雰囲気すら漂っています。

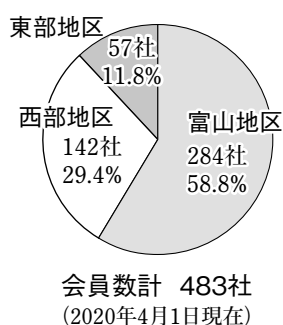
合成の誤謬という用語があります。実質的に安全な人々、組織まで全国一律の自粛を続ければ、地域社会が打撃を被り、弱い立場の人々にしわ寄せが行きます。責任ある人々は、適切な情報の公開に努めるとともに、情報を見極め、安全側一辺倒の対応を排するなど、地域社会を念頭に置いた行動をとらなければならないと感じます。

調べた事実を一つ。中国本土からの観光宿泊客、富山県は感染者の多い北海道の1/100以下のオーダーです。感染者数が長く0を続けたのは、これが最大の理由かも知れません。

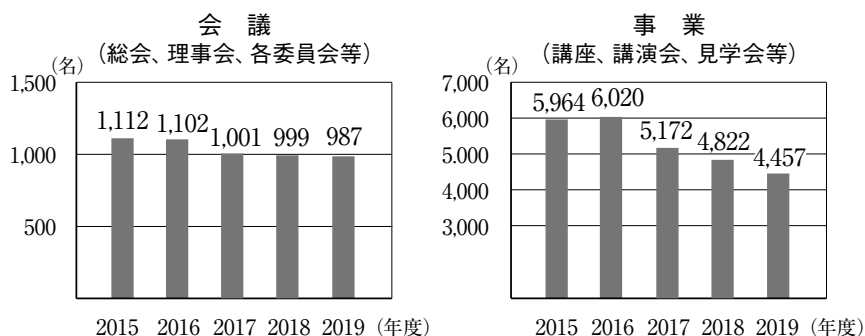
本年度も、経営者協会に対する引き続きのご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

協会の現況

◆ 地域別会員数 ◆



◆ 参加者数推移 ◆



2020年度事業方針

基本理念

富山経協は、創造的で活力のある企業経営の実現をめざし、
地域社会の発展に貢献します。

2020年度事業方針

世界経済の減速を受け、輸出や生産の弱さが長引く中、業種や企業ごとに実績のばらつきがみられる。先行きも米中貿易摩擦の長期化や英国のEU離脱の影響などのリスクが懸念される。

一方、国内においては、特に地域の中小企業では、深刻化する人出不足、最低賃金の引き上げや社会保険料の増加の影響、新型コロナウイルスによる経済活動の減速など、社会全体に関わる重要な課題が山積している状況である。

このような時にこそ、富山県経営者協会が長年「企業と人」にフォーカスしてきた事業活動が、ますます重要になっており、富山で事業を営む経営者で構成する民間経済団体として、あるべき姿を自覚し、新たな行動をすることにより、存在価値を高めていく。そのために多様化する会員ニーズに対応した経営課題の研究と広報、労働生産性の向上、会員企業で働くすべての社員の能力向上を目的とする研修・セミナー等、事業活動を進め会員サービスの向上につなげていく。

1. 企業経営に必要とするタイムリーな情報の収集と提供

- (1) 経営課題に関する調査研究と情報発信を行う。
- (2) 会員に必要な情報収集と発信を行う。
- (3) 人事労務、環境経営、人材育成に関する相談活動の充実を図る。

2. 「企業と人」にフォーカスした委員会活動の推進

- (1) 委員会の役割・目的を明確にし、タイムリーな研究・情報発信を行う。
- (2) あらゆる業種・階層に応じた人材育成の研修・セミナーを企画・実施する。
- (3) 『エンゲージメントを高めるさらなる働き方改革』をテーマに研究・情報発信を行う。

3. 事業活動とサービスの幅を広げた会員相互の交流機会の支援

- (1) 総会、幹事会、地区懇談会を開催する。
- (2) 会員企業の見学会とビジネス交流の機会を提供・支援する。
- (3) 多様な交流機会を提供する。

4. 会員ニーズに沿った事業活動とサービスの提供

- (1) 会員訪問活動を強化し、要望やニーズを踏まえた事業活動を実施する。
- (2) 研修・セミナーは実施後評価を踏まえて、スクラップ&ビルドを行う。
- (3) 「働き方改革」、「ハラスメント防止」等、先進的事例のセミナーを開催する。

5. 民間経済団体として機能発揮と地域社会発展への貢献

- (1) 会員状況把握、政策提言・要望活動を実施する。
- (2) 行政との連携と相互事業を実施する。
- (3) 経団連・他団体との情報連携を図る。

2020年度 年間事業

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
会 議		理 事 会 (20日)	定 時 総 会 (26日) 理 事 会 (26日)		会長・副会長会議 (3日) 北陸三県・長野県経営者 協会役員懇談会(10日・11日)		理 事 会 (18日)	
事 業			講 演 会 (26日)		西部地区会員懇談会 (3日)		富山地区会員懇談会 (18日)	
調 査		新入社員意識調査		夏季賞与調査 初任給調査	経営課題調査		新入社員意識調査 (フォローアップ編)	
広 報		富山経協4月号		富山経協6月号 講演録「不易流行」		富山経協8月号		
委 員 会	総務交流	会議 活動			定例委員会		定例委員会 富山経協ゴルフコンペ	
	人事労務	会議	幹 事 会	定例委員会			定例委員会	
		活動		企業見学会	労働法関連法制 研究部会	メンタルヘルス部会		労働法関連法制 研究部会
	教育	会議			定例委員会			定例委員会
		活動			教育制度見学会	研究部会	講 演 会	
	品質管理	会議	幹 事 会			定例委員会		定例委員会
		活動				企業見学会		
	環境	会議		定例委員会			定例委員会	
		活動		県との情報交換	環境保全活動	県外企業見学会	勉 強 会	環境保全活動
	経営企画	会議		定例委員会			定例委員会	
活動			経営課題調査 テーマ設定			経営課題調査 テーマ設定		
講 座 ・ セ ミ ナ ー	階層別研修	新入社員合同研修 (6日)	職場リーダー基本 コース <2日間・2回> (A 19日・20日) (B 21日・22日)	管理職基礎コース <3日間> (16日・17日 ・9月25日)	職場リーダー入門コース <2日間・2回> (A 7日・8日) (B 9日・10日) 部課長実践講座 <2泊3日>(16日~18日)		自部門戦略立案研修 <2日間> (15日・16日) 新入社員フォロー アップ研修<2回> (A 29日)(B 30日)	
	共 通 (目的別)		仕事の基本「報連相」 セミナー (12日)	好印象を与える コミュニケーション力 向上セミナー (2日) ヒューマンエラー 対策講座【実践編】 <2日間> (3日・4日) 職場の活性化を図る チーム力向上セミナー <2日間> (23日・24日)	職場のパフォーマンス をあげる「ハラスメ ント防止」セミナー (21日)	なぜなぜ分析活用 セミナー (4日) 女性社員活躍 セミナー (19日)	ISO14001内部監査員 養成講座<2日間> (8日・9日)	
	労務管理		人事・労務管理セミナー 第1回 (14日)	労働法実務講座 第1回 (10日)		人事・労務管理セミナー 第2回 (5日)	労働法実務講座 第2回 (17日)	
	品質管理	品質管理入門講座【基礎編】<4日間> (4月9日~5月14日)		実践しながら学ぶ統計的手法活用講座<15日間> (5月28日~11月26日)				
		生産管理			ものづくりと現場改善 実践セミナー<1泊2日> (9日~10日)			IE手法による生産現場 の改善セミナー(4日)
	購買管理						購買管理実践 セミナー (9日)	
	営業	営業力基礎セミナー <2日間>(21日・22日)						
	経 理						財務会計の基礎講座 (21日)	

活動計画表

10月	11月	12月	2021年1月	2月	3月	
	会長・副会長会議 (6日)				理事会 (5日) 幹事会 (5日)	会議
	東部地区会員懇談会 (6日)		経済団体新春互礼会 (4日)		連合富山との懇談会 (5日)	事業
	冬季賞と調査 新春アンケート	経営課題調査		2020年度調査報告書	新卒者採用調査 春季賃金改定状況調査	調査
富山経協10月号		富山経協12月号	富山経協新春号	富山経協2月号		広報
		定例委員会				会議
企業見学研修会	会員交流ボウリング大会	婚活イベント				総務交流 活動
	幹事会	定例委員会		定例委員会		会議
メンタルヘルス部会	労働法関連法制 研究部会		メンタルヘルス部会	労働法関連法制 研究部会		活動
	幹事会	定例委員会		定例委員会		会議
	研究部会	勉強会		教育制度見学会 研究部会		活動
	幹事会	定例委員会		定例委員会		会議
県外企業見学研修会	講演会			企業見学会		活動
	幹事会	定例委員会				会議
セミナー		講演会、事例発表会		県内企業見学会		活動
	定例委員会			定例委員会		会議
	次年度協会活動 テーマ設定					活動
職場リーダー実践コース <2日間> (6日・7日) 若手社員実践コース (22日)	管理職中級ステップ アップコース <2日間> (17日・18日)		企業行動倫理研修 (26日)	職場リーダー実践コース <2日間> (16日・17日)	若手社員ステップ アップコース(3日)	階層別研修
ヒューマンエラー 未然防止セミナー (2日) 改善力養成セミナー 【基礎編】(16日) 会議の生産性を向上する ビジネス・ファシリテーター 養成講座(20日)	ISO9001内部監査員 養成講座<2日間> (10日・11日) タイムマネジメント 研修(27日)		CS(顧客満足) 基礎セミナー (19日)		ISO9001内部監査員 養成講座<2日間> (9日・10日) 改善レベルアップ セミナー【応用編】 (11日)	共通(目的別)
	労働法実務講座 第3回(19日)			春季労使交渉セミナー 労働法実務講座 第4回(18日)		労務管理
	労務管理実務講座<5日間> (10月7日~11月5日)					
	変化点管理の考え方 進め方セミナー(25日)			品質管理入門講座【実践編】<4日間> (1月14日~2月4日)		品質管理
ものづくり女性社員 のための改善力向上 セミナー(27日)		5Sと目で見える管理 実践セミナー(3日)				生産管理
						購買管理
						営業
						経理

2020年度 委員会活動紹介

総務交流委員会

委員長 矢野 茂

(北陸電気工事株式会社
代表取締役社長)



当委員会では、活動テーマ「エンゲージメントを高めるさらなる働き方改革」に即した経営課題に関する情報交換を行い、人脈構築の場につなげるとともに、行政、他団体との連携を深めるという方針に基づき、各種調査、広報、会員交流事業の開催等を行っております。

そうした中、WHOは新型コロナウイルスについてパンデミックと表明するなど世界中で社会、経済が混乱していますが、一日も早い終息により人的、経済的活動等が従来どおり活発になり、当協会が2020年度に計画しております様々なイベント、施設見学研修会等が無事開催できますことを心より願っております。

今年度も当委員会主催の行事に多数参加いただきますよう、引き続き会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

【活動概要】

<定例委員会>

委員相互の情報交換・経験交流の場として定期的に開催しており、調査活動におけるタイムリーな経営課題テーマによる調査内容や会員交流事業の活性化などについて審議を行っております。

<調査活動>

「調査活動」は、総務交流委員会が主体となって実施しております。毎年、賃金改定、初任給、賞与、新卒採用等に関する調査や、その時の経営課題に関する調査を実施し、調査結果を報道機関に公表するとともに、会員の皆さまに機関誌やホームページを利用して、有用でタイムリーな情報提供を行っております。

<事業活動>

「会員交流事業」として、9月にゴルフコンペ、10月に施設見学研修会、11月にボウリング大会、12月に婚活イベント等を実施する予定です。

人事・労務政策委員会

委員長 八十島 清吉

(株式会社 タカギセイコー
代表取締役会長)



当委員会の目的は、企業における「人」の活用（雇用、育成、能力発揮、管理）に関わる諸制度・法令を研究し衆知を図るとともに、健全な労使関係を維持し、時代に即した労務政策を研究・提言することにより、会員企業の発展、経営の安定に貢献することにあります。

今年度の事業活動計画については、活動テーマである『エンゲージメントを高めるさらなる働き方改革』のもと、企業見学会、講演会やセミナー等を開催し、真の働き方改革の推進、競争力強化、生産性向上に向けた取り組み事例等の情報発信、共有化を図っていく予定です。

また、各種講座事業および部会活動では、経営者の視点に立った的確な情報提供を行ってまいります。

会員企業の皆様のご協力、ご参加を宜しくお願いいたします。

【活動概要】

<定例委員会>

委員相互の情報交換・経験交流の場として定期的に開催しており、県や労働局等の外部団体との情報・意見交換も行っております。

今年度も「働き方改革」の推進に関する最新情報の確認や情報交換等を実施するとともに、「人事労務に関する取り組み事例の共有」をねらいに企業見学会も実施する予定です。

<研究部会活動>

- ・労働法制関連研究部会（年4回開催）

最新の労働判例について、弁護士を講師に判例解説、意見交換を実施しております。

- ・メンタルヘルス部会（年3回開催）

実務担当者を中心にメンタルヘルスに関する勉強会・意見交換会を実施しております。

<事業活動>

経営者協会で開催する人事・労務に関わる講座・セミナーで取り上げるテーマや内容について審議を行い、①人事・労務管理セミナー、②労働法実務講座、③労務管理実務講座等を開催しております。

教育委員会

委員長 松原 隆光
(株式会社ピア
代表取締役)



当委員会は、企業環境の変化に対応して、人材育成や企業内教育の諸課題について幅広く調査研究し、会員企業の社員教育、社員の資質向上の一助とし、会員企業の発展に貢献することを目的としております。

人手不足が深刻化し、働きやすい職場環境を整備することが企業に求められている中、さらなる労働生産性向上に取り組む必要があります。

そこで、委員会活動としては「教育制度見学会」や「勉強会」、「講座・セミナー検討会」などを通じて人材育成に関する幅広い情報交換と研究を行いたいと考えております。また、「階層別研修」をはじめ「職能別研修」など時宜に適したテーマ・内容でより効果の高い研修を企画実施し、会員企業の皆様の継続的な発展に寄与していきたいと考えております。皆様のご参加、ご協力をお願いいたします。

【活動概要】

<定例委員会>

定例委員会を6月・8月・12月・2月の年4回開催しております。6月と2月は「教育制度見学会」を、8月と12月は「日本経団連との情報交換会」および「エンゲージメント」に関する「勉強会」を定例委員会と合わせて実施する予定です。

<研究部会活動>

「講座・セミナー検討会」として、2020年度実施する管理職研修に部会員が実際に参加し、問題点・課題点を見つけ出し改善することで、今後の階層別研修のさらなる充実を図ります。

<事業活動>

階層別研修を15講座、職能別研修を13講座開催します。特に新設講座として「管理職中級ステップアップコース」「自部門戦略立案研修」「企業行動倫理研修」「タイムマネジメント研修」を時宜に適したテーマ・内容で開催いたします。

品質管理委員会

委員長 谷川 正人
(コーセル株式会社
代表取締役社長)



当委員会の目的は、企業経営における品質の重要性を認識し、「顧客・品質第一」の基本思想の確立および全員参加の品質経営・品質管理活動の展開と推進を図り、また、そのための基本となる考え方、品質システム、科学的な管理手法などを普及・浸透することより、会員企業の発展に貢献することです。

グローバル化の変化が激しく、また、デジタル技術革新の加速やニーズの多様化も進展する中、品質経営においては、これまでの強みをさらに強化しつつも、その変化に迅速に対応する能力を高めていくことが求められています。

委員会活動としては、「委員相互の情報・経験交流」や「先進の品質経営の考え方・取り組みを内・外から学ぶ活動」に注力し、基盤強化や変化に対応できる現場力・体質強化に役立ててもらいたいと考えています。

皆様のご参加、ご協力をお願いいたします。

【活動概要】

<定例委員会>

委員に加え、若手担当者も交えた相互の情報交換・経験交流の場として「グループディスカッション」を2回、他社の活動を実際に目で見て体感する場として「委員企業見学会」を2回計画しております。また、品質経営の考え方を学ぶ「特別講演会」の開催や日本科学技術連盟主催の「品質管理シンポジウム」への委員会内での参加を計画しています。

<事業活動>

日本の品質経営・品質管理の先進企業を直接見て学び、品質管理活動の意識を高め、委員相互の啓発を図ることをねらいに「県外企業見学研修会」を毎年開催しております。

また、人材育成に関わる講座・セミナーを14講座開催し、委員の講座・セミナー担当制を実施し、委員と講師の情報交換を行いながら、階層別・分野別の品質管理教育の計画的実施と見直しを行っております。

環境委員会

委員長 尾島 志朗
(北陸電力株式会社
代表取締役副社長)



当委員会の目的は、活動を通じて、持続可能な循環型社会を目指し、かけがえのない地球環境を次世代へ引き継ぐとともに、事業活動による環境負荷を極力削減し、環境保全と安定的経済社会の両立を図ることです。

各企業においても環境保全に向けて日々の事業活動の中で取り組んでおられることと思いますが、企業同士の情報交換等を通して環境保全に取り組むことでより大きな成果へ繋がるものと考えており、当委員会の活動がその一助になれば幸いです。

今年度は、環境行政に関する情報提供、企業見学会の実施、富山県機電工業会と共催し講演会・事例発表会を開催するなど、皆様の環境対策に役立つ活動を行ってまいりたいと考えております。

皆様のご参加、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

【活動概要】

<定例委員会>

委員相互の情報交換・経験交流の場として定期的に計画し、富山県や日本経済団体連合会による環境問題に関する情報提供を行います。さらに今年は、富山県機電工業会（環境委員会）と共催事業を計画しており、相互交流の促進にも取り組みます。

<事業活動>

環境経営・強化に向けた情報提供として、「ISO14001内部監査員養成講座」および昨年好評をいただいた「省エネセミナー」を引き続き開催いたします。

また、会員企業における環境経営への取組み支援を目的に、県内・県外企業見学研修会の実施およびオイスカ富山県支部の環境保全活動にも参加をし、地球環境の保全に少しでも役立てるような活動をしていきます。

経営企画・IT委員会

委員長 牧野 賢藏
(株式会社インテック
取締役専務執行役員)



当委員会は、「経営者・経営層を対象とした経営課題に関する研究・調査を行いその成果を情報発信するとともに、経営理念や方針等を社員に浸透させる取り組みや仕掛けについての勉強会・見学会を企画実施すること」と、「企業経営環境の変化に対応し広く企業経営に関する重要課題を委員会で議論・意見交換し、その中で浮かび上がった緊急課題は理事會に提言し協会の政策立案につなげる」ことを活動目的としております。

2020年度は「エンゲージメントを高めるさらなる働き方改革」をテーマに、経営課題についての研究・調査活動、およびその成果の情報発信や行政・他団体とも連携した施策の実施や支援など、会員企業のみなさまの発展に貢献できるように取り組んでまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

【活動概要】

<定例委員会>

委員相互の情報交換の場として年4回開催しております。今年度は5月と8月に勉強会や経営課題調査のテーマ設定、11月に協会活動テーマを検討する予定です。

<事業活動>

経営者の役割に特化した経営課題をテーマに研究・調査活動について審議・検討を行い、議論の中で浮かび上がった緊急課題については理事會に提言し、協会の政策立案につなげております。その上で、総会や地区会員懇談会における講演会等の企画・実施を行っております。

<ITインフラ部会活動>

企業の生産性向上に向け、経営の切り口からIT活用について調査・研究を行っているほか、参加企業間でのIT活用や情報セキュリティのあり方等について情報交換を行っております。

委員会活動についてのお問い合わせは 事務局まで TEL (076) 441-9588
Eメール info@toyama-keikyo.jp

職場における「パワーハラスメント防止」が義務化されます！

2020年6月1日施行（中小企業は2022年3月までは努力義務とされています）

事業主の責務

- ①パワーハラスメントを行ってはならないなど、パワーハラスメント問題に対する自社の労働者の「関心と理解」を深めること。
- ②自社の労働者が他の労働者（他社の労働者や求職者を含む）に対する言動に必要な注意を払うよう、研修の実施等必要な配慮をすること。
- ③国などが行う広報活動や啓蒙活動に協力するよう努めること。
- ④事業主（法人の場合はその役員）は、自らもパワーハラスメント問題に対する関心と理解を深め、労働者（他社の労働者や求職者を含む）に対する言動に必要な注意を払うよう努めること。

事業主が雇用管理上、具体的に講じなければならない措置（義務）

- ①事業主の方針等の明確化及びその周知・啓発
- ②相談に応じ、適切に対応するために必要な体制の整備
- ③事後の迅速かつ適切な対応
- ④相談者・行為者等のプライバシー保護の措置を講じること、及びパワーハラスメントの相談等を理由とする不利益な取扱いをさせない旨を定めて労働者に周知・啓発すること。

職場におけるパワーハラスメントの内容（概要）

- ①優越的な関係を背景とした言動であって、
- ②業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより、
- ③労働者の就業環境が害されるものであり、
- ①から③までの要素をすべて満たすもの ……と定義されています。

なお、客観的にみて、業務上必要かつ相当な範囲で行われる適正な業務指示や指導については、職場におけるパワーハラスメントには該当しない ……とされています。

指針では、「職場」「労働者」「業務上必要かつ相当な範囲を超えた」「労働者の就業環境が害される」等について、具体的な内容も詳細に示されています。次号(6月号)に掲載します。

経営者、管理職の皆様のみならず従業員の皆様をふくめ**全員**が、パワーハラスメント、セクシュアルハラスメント、育児・介護にかかわるハラスメントをはじめとする、あらゆるハラスメントに対して正しい認識を持ち、ハラスメントが起きない職場を築いて行きましょう。

中小企業の時間外労働の上限規制が、2020年4月1日から始まっています！

新しい「^{サブロク}36協定」への対応準備はお済みですか。届出様式も新しくなっています。

36協定や就業規則などを作成するための支援ツールが用意されており、電子申請もできます。

対応がお済みでない方、作成方法がご不明な方は、最寄りの労働基準監督署にお問い合わせください。

残業時間の上限は、原則として**月45時間・年360時間**とし、臨時的な特別の事情がなければこれを超えることはできません。

働き方改革特設サイト

www.mhlw.go.jp/hatarakikata/

働き方改革 厚労省

検索



日々の積み重ねを 大切に 顧客開拓、挑戦し続け30年

株式会社日本オープンシステムズ
代表取締役社長

大 蔵 政 明 氏



今年設立30周年を迎えられます。
これまでの沿革を教えてください。

1990（平成2）年に、情報サービスの㈱CSK（現SCSK㈱）の関連会社として設立しました。当時CSKは各地に開発拠点を広げており、私はシステム開発部で全国展開の推進役でした。北陸での立ち上げを模索していましたが、適任者が見つからず、そのうち私が富山県出身ということで責任者となり、そのまま社長に就任

することになりました。

1994年に㈱日本オープンシステムズと社名変更されました。

富山の中小企業のお役に立ちたいと思って開設したのですが、地元での仕事は少なく、当初はCSKからの下請け仕事を中心でした。ところがバブル崩壊の時期と重なり、2、3年もするとCSK本体の仕事が激減し、当然、当社の仕事も減ります。そこで新規営業をしようとしてもグループ内ではテ

リトリーが決まっています北陸から出ることはできません。独立は認められていたので、CSKから株式を買い取って資本関係を解消し、グループから離れました。

当時はパソコンの普及に伴いシステムも、オフコンなどに使われた専用のものから標準化された「オープン化」が叫ばれた時期で、現在の社名にしました。県内の大手企業や、これまでの人脈を頼って東京で営業を展開し、とにかく顧客開拓に努力した30年です。今ではエンドユーザーからの直請けの仕事が全体の7割で、中小企業のお客様も増えてきました。

事業構成をお尋ねします。

システム開発が60%、その後の運用やサービスが25%で、その他ソフトウェアの検証なども請け負っています。1996年に東京営業所を開設したのを皮切りに、長野、金沢、名古屋へと拠点を広げてきました。

2015年に和田特機㈱（名古屋市）を傘下に収められました。

建設業向けの見積り積算のパッケージシステムを作っていて、大手ゼネコンを含む全国の建設会社と取引のある会社ですが、小規模なため他の仕事を受け切れていませんでした。建設業界でも人手不足を背景にICT化が進んでおり、同社の既存のお客様に新しいシステム提案を進めています。

－働きやすさを創造に－

設立時から会社を率いてこられたわけですが、どのような経営方針で進んでこられたのでしょうか。

会社設立時に、社是「創造と挑戦」と、3つの経営理念「①世の中に必要な企業経営、②変化に挑む経営、③個人と会社の目標を一致させる経営」を掲げました。

創造力がかぎとなる現代で生き残って行くには、ミスを恐れずに積極的に挑戦し、社員一人一人の力を結集して会社の存在価値を高めなければいけません。

同時に、会社の成長が社員の仕事のやりがいにつながり、経営基盤の強化が社員の経済的な余裕につながる、いわば、会社と社員は運命共同体です。自分のプロジェクトにしか意識がなく、会社の実情がどうなっているかを知らないということがないように、創業以来毎月、業務報告会を行っています。現在は拠点ごとに実施しており、決算期には全社員が集まって、業績目標を達成した部門を表彰すると共に、新年度の事業計画発表会を開いています。

創造、挑戦する人材をどのように育成されていますか。

はじめから「創造しろ」「挑戦しろ」なんて言っても、社員にはピンとこない。「自分たちにはできることから始めなさい」と言っています。技術もいきなり高い所を目指すのではなく、日々の仕事を通じて磨いた積み重ねが大きな力になるだろうと考えています。

一方で、最新の情報や技術動向に触れるため、技術セミナーなどに派遣しており、エンジニアは少なくとも年1回は参加するように

しています。また、テーマと時間を決めてアイデアとプログラムを競い合う「ハッカソン」も社内で定期的に行っています。

現在、40歳前後の社員が各部門長として活躍していますが、幹部の育成は、若手のときから選んで色々な経験をさせています。失敗する場合がありますが、長い目で見て、ミスを恐れずに経験を積ませることが大切だと思っています。**2015年にくるみん認定を受けられました。働き方改革の取り組みを教えてください。**

昔は私も「会社の発展には残業は必要」という考えでしたが、早くに労働組合ができ、労働時間について話し合いを繰り返す中で、考えが変化してきました。当社では、「残業はない方がよい」という意識は経営陣も従業員も早くから持っていたと思います。プロジェクトによっては残業が重なることがありますが、平均残業時間は20時間以下になりました。業界のイメージを良くしたいとの思いで、時間外の残業代も法定の割増率より5%上乗せして130%にしています。

子育て期の時短勤務は小学校入学まで認めています。こうした取り組みを早くからやっていたので、働きやすい職場環境になっているかと思っています。

— AIやIoTで100億目指す —

第4次産業革命に向け、今後の展望をお聞かせください。

2020年3月期決算では売上は過去最高の39億円、グループでは43億円くらいになると予想しています。今期はAIやIoTの需要を取り込んで事業を拡大したいと思っています。AI導入の案件はまだまだこれからですが、社内で様々なツールを試験的に使い、実用化に向けた準備をしています。

良い案件があればM&Aも視野に入れ、事業規模を拡大し、近い将来に売上高50億円を達成し、長期的には100億円のグループを目指しています。

座右の銘を教えてください。

「為せば成る為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」です。強い意志をもってやり続けることで、どんなことでもやり遂げることができると思います。目標を掲げることは大切ですが、日々の努力をおろそかにせずに、一つ一つ着実に実行していくことが大切だと思っています。

会社概要

株式会社日本オープンシステムズ

創業：1990(平成2)年7月
所在地：富山市上本町3-16上本町ビル7F
資本金：5,200万円
事業内容：システムコンサルティング、システムエンジニアリング、システム検証サービス、システム運用・サポート、ネットワークサービスソリューション、システムプロダクト(ハード・ソフトウェアライセンス)の取扱

従業員数：335名(2019年4月現在)
売上高：36億9,000万円(2019年3月期)
事業所：北陸、東京、長野、金沢、名古屋事業所
関連会社：和田特機(株)
URL：<https://www.jops.co.jp/>



業績達成部門表彰

略歴

1949(昭和24)年朝日町生まれ。魚津工業高校電気科卒。1954年(株)CSK入社、1990年CSK北陸システム(株)設立と同時に社長に就任。1994年7月(株)CSKより独立して商号を(株)日本オープンシステムズに変更すると同時に社長に就任。現在富山県情報産業協会会長。

2020年4月新卒者等の採用に関する調査

採用実績は全体で前年比8.2%減 製造業は7.8%減、非製造業8.6%減 2021年4月採用は増加の予定

〔調査対象企業等〕

当協会では標記調査結果をまとめた。2020年4月（'20/4）新卒者の採用実績は、全産業では前年比8.2%の減少となった。産業別の内訳は、製造業が7.8%、非製造業が8.6%の減少となっている。

また、2021年4月（'21/4）の採用予定数は、具体的数値で回答があった企業で見ると、全産業では'20/4採用実績に対して20.6%の増加予定となっている。産業別の内訳では、製造業が17.9%、非製造業が24.0%の増加予定となっている。ただし、新型コロナウイルスの影響で企業業績が悪化し、採用計画を抑制する懸念も高まっている。

本調査は、2月1日～3月19日の期間に実施。調査対象は、当協会会員企業485社（2月1日現在）。回答は266社からいただいた（回収率54.8%）。内訳は製造業140社、非製造業126社である。この調査は1995年より毎年行っているもので、今回は26回目となる。

1. 新卒者の採用状況

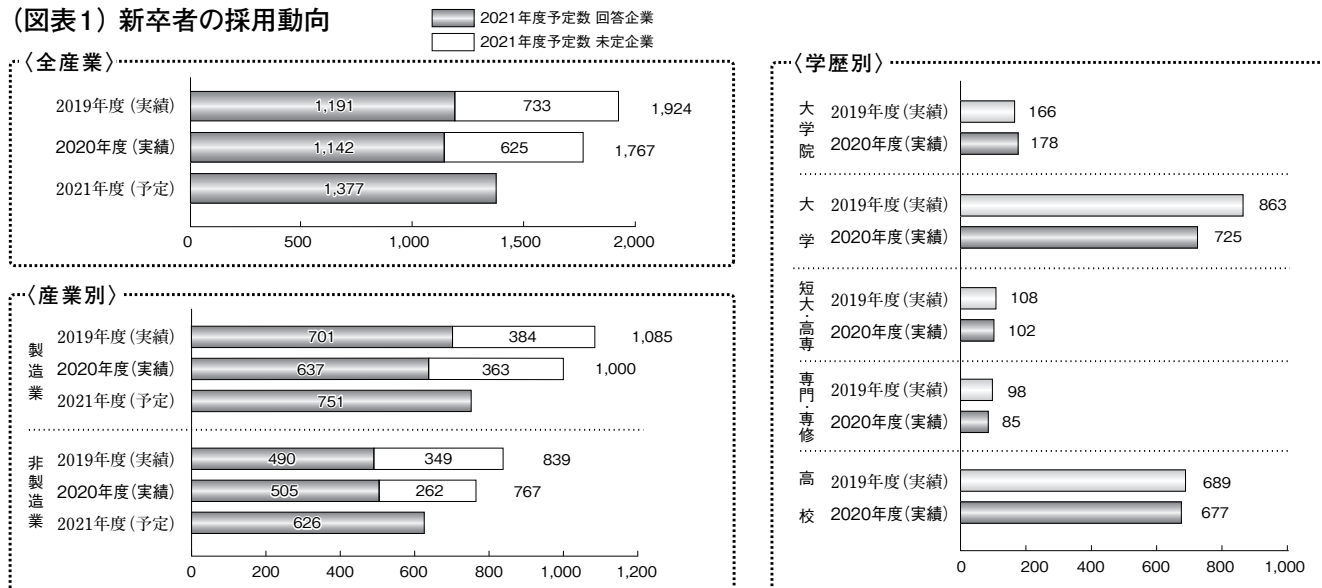
（1）2020年4月採用実績

全産業・全学歴計で見ると、2019年4月（'19/4）の1,924人に対して'20/4は1,767人で157人減少（▲8.2%）となった。

産業別で見ると、製造業では'19/4の1,085人に対して'20/4が1,000人で85人減少（▲7.8%）、非製造業では'19/4の839人に対して'20/4が767人で72人減少（▲8.6%）となった。

次に、学歴別にみると、大学卒が'19/4の863人から'20/4の725人（138人減、▲16.0%）、短大・高専卒が'19/4の108人から'20/4の102人（6人減、▲5.6%）、専門・専修卒で13人（98人から85人、▲13.3%）、高校卒で12人（689人から677人、▲1.7%）と減少した。また、大学院卒で12人（166人から178人、+7.2%）、と増加であった。（図表1）

（図表1）新卒者の採用動向



(2) 2021年4月採用予定

'21/4の採用予定数について、
 具体的数値で回答があった162社の
 の合計は1,377人で、同じ162社の
 '20/4の採用実績1,142人に対して
 て235人増(+20.6%)となっ
 ている。また、'21/4の採用
 予定者数を未定としている企
 業が104社あり、'20/4の
 採用実績は625人であった。

産業別でみると、製造業では
 '21/4の採用予定者数につ
 いて具体的数値で回答があ
 った83社の合計は751人
 であり、同じ83社の'20/4
 の採用実績637人に対し
 て114人増(+17.9%)とな
 っている。また、'21/4の
 採用予定者数を未定とし
 ている企業が57社あり、
 '20/4の採用実績は363
 人であった。

非製造業では'21/4の採用
 予定者数について具体的
 数値で回答があった79
 社の合計は626人であり、
 同じ79社の'20/4の採
 用実績505人に対して121
 人増(+24.0%)となっ
 ている。また、'21/4の
 採用予定者数を未定とし
 ている企業が47社あり、
 '20/4の採用実績は262
 人であった。(表2)

(表2) 業種別採用状況(実績・予定)

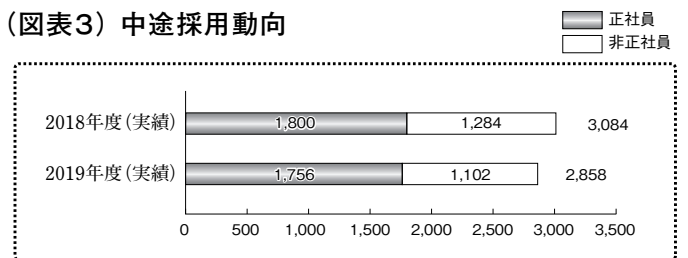
(単位:人)

産業区分	2021年度採用予定回答企業				2021年度採用未定企業		
	企業数	21年4月 予定	20年4月 実績	19年4月 実績	企業数	20年4月 実績	19年4月 実績
食料品・飲料	0	0	0	0	3	10	13
織 維	2	5	1	2	3	7	5
木材・パルプ・紙	4	20	15	8	2	4	5
印 刷	2	13	13	8	4	45	64
化 学	15	151	132	139	15	156	127
プラスチック・ゴム	8	58	58	54	3	18	23
鉄鋼・非鉄金属	3	33	11	12	3	6	7
金属製品	10	69	43	49	8	81	75
汎用・生産機械器具	19	224	200	250	9	16	31
電子・電気機械器具	12	153	146	154	2	2	3
輸送用機械器具	3	18	8	17	3	16	29
その他製造業	5	7	10	8	2	2	2
製造業計	83	751	637	701	57	363	384
建 設	14	76	48	48	8	20	13
電 気 ・ ガ ス	2	138	145	140	1	9	5
情 報 通 信	8	78	60	52	8	69	65
運 輸	9	99	86	68	7	14	18
卸 ・ 小 売	21	54	43	43	13	61	106
金 融 ・ 保 険	2	30	20	30	3	82	139
宿泊・飲食・生活関連	1	7	0	3	2	0	0
学術・専門・技術サービス	10	45	33	37	0	0	0
教育・医療・福祉	5	42	21	25	3	2	0
サービス・その他非製造業	7	57	49	44	2	5	3
非製造業計	79	626	505	490	47	262	349
全産業計	162	1,377	1,142	1,191	104	625	733

2. 中途採用の状況

'19年度中に中途採用を行った企業は、285社中233社(81.8%)で、採用実績は2,858人となっている。また、中途採用のうち正社員として採用されているのは1,756人(61.4%)であった。(図表3)

(図表3) 中途採用動向



事業活動報告

理事会

3月6日（金）17時45分から、富山電気ビル4階7号室で、金岡会長はじめ理事8名、監事2名が出席して、理事会を開催した。

金岡会長が議長となり、(1)2020年度事業方針の件、(2)2020年度

暫定予算の件、(3)新会員2社入会の件について審議し、すべての議案は全員異議なく承認された。続いて、今後の行事予定、富山経協事業実績、新型コロナウイルス予防措置の対応（会議、講座・セミナーの状況）について、報告があった。



幹事会

3月6日（金）16時30分から、富山電気ビル4階光の間で41名が出席して、幹事会を開催した。金岡会長の挨拶の後、下記の報告を行った。

(1) 2019年度事業報告

第74回 定時総会は5月21日に開催し、2018年度事業報告と財務諸表、県に提出する公益目的支出計画実施報告、2019年度事業計画と損益予算、理事の選任について審議し、承認された。

総会終了後、(株)日本政策投資銀行 健康経営格付主幹の橋本明彩代氏を招き、「企業価値と健康経営」と題して、講演会ならびにパネルディスカッションを行った。

理事会は、4月22日、5月21日、11月8日の3回と書面理事会を7月25日と9月18日に開催した。

会員懇談会は、7月5日に西部地区、9月20日に富山地区、11月8日に東部地区、合わせて3回開催し、経済5団体合同の新春互礼会は1月6日に開催した。

広報活動のうち、機関紙は7回発行、4回開催の講演会は小冊子にとりまとめて配付し、ホームページにも掲載した。調査活動のうち、定期調査は7回、経営課題調査は2回実施した。講座・セミナーは全体で48回開催し、合計1,785名の参加があった。

委員会活動について、矢野総務交流委員会委員長、八十島人事労務政策委員会委員長、松原教育委員会委員長、谷川品質管理委員会委員長、尾島環境委員会委員長、牧野経営企画・IT委員会委員長から報告があった。

(2) 2019年度正味財産増減見込み報告

受取り会費は55,358千円、事業収益は、講座セミナー、委員会、オーダーメイド研修の各事業ともに予算を上回る予想で、42,594千円を見込んでいる。雑収益は430千円を見込み、経常収益計は98,383千



円となる予想。経常費用計は103,573千円の見込みで、ほぼ予算通り。

この結果、評価損益等調整前当期経常増減額の見込みは▲5,190千円となり、予算に対し約1,600千円の収支改善となる。

(3) 2020年度暫定予算(案)報告

受取り会費は、会員数487社を前提として、55,080千円とした。事業収益は、講座セミナー事業で34,815千円、委員会事業で3,136千円、オーダーメイド研修事業で2,190千円、会員共益事業で2,000千円とし、計42,141千円の予算とした。雑収益は430千円で予算を組み、経常収益計は97,652千円の予算とした。

一方、経常費用は、事務所の高速プリンターの入れ替えに伴う賃借料の増加、相談業務の充実のために委託費の増加を予定し、106,743千円で予算を組んだ。

この結果、評価損益等調整前当期経常増減額は、▲9,091千円となる。

報告終了後、金岡会長から「2020年度の全体行事日程」ならびに「経営者協会事務所の今後について」の連絡があった。

続いて、教育委員会研究部会が2019年度活動報告として、「富山県経営者協会の管理職教育の研究」発表を行った。

連合との懇談会

連合富山と富山県経営者協会との懇談会が3月6日(金)、富山電気ビルで開催された。当協会からは金岡会長はじめ、武内副会長、井上副会長、八十島副会長、矢野副会長、稲垣理事、中西理事、矢坂専務理事の8名が、連合富山からは辻会長はじめ11名が出席した。

懇談に先立ち、辻会長から金岡会長へ要請書が手渡された。要請書では、一人ひとりの働きの価値が重視され、その価値に見合った処遇が担保される社会を実現していくことが重要であるとし、6つのテーマと個々の要請について、申し入れしている。

- ①賃上げ要請
- ②「すべての労働者の立場にたった働き方」の見直し
- ③「取引の適正化」の推進
- ④ジェンダー平等・多様性の推進
- ⑤安心・安全で健康に働くことができる職場づくり
- ⑥新型コロナウイルス感染症対策

について

辻会長は、今年は過去6年間の賃上げ環境と全く異なる状況に十分理解を示した上で、「厳しい企業環境でも賃金引上げの考えや要求は、一人ひとりの頑張りや企業の成長を考えたときに、日本全体の景気を支えていく。働き方改革の課題解決には、280社の事例集を作成して、県内で共有している。各企業においては、労使の信頼関係のもとで、十分に話し合って納得のできる水準で早期に決着して欲しい」と述べた。

これを受けて、金岡会長は、「昨年の出生数がピーク時の3分の1を切った少子化・人口減少時代を踏まえ、これから何が起きるのか想像力を働かせ、これまでと違う物の考え方で取り組んでいかなければならない。労使協議は賃上げや採用において、一つのガイドラインを示すことになり、春闘には一定の意味合いがある」と話し、



個別の問題提起として、「県内での女性活躍が進んでいないことで少子化(=少母化)に歯止めがかからないことに危惧している」とも述べ、さらに、「労使は資本家と管理者層を加えた四階層で物事を考える時代である。例えば、労使相対の考え方を換え、労働組合の方も自社株の購入で持ち株比率を増やし、経営にコミットし、同時にリターン(配当)も獲得する方向に変えていく。経営への積極的コミットメントを強めようという考え方がないのは、低成長時代にそぐわないのではないか」との考えを示した。

その後、自由討議に入り、双方から活発な意見交換が行われた。

2020年2月11日～4月9日

	事業名	委員会名	開催日	場所	参加人数
会議	品質管理委員会「定例委員会」	品質管理	2月26日(水)	中越合金鋳工(株)	27名
	人事・労務政策委員会「定例委員会」	人事・労務政策	2月27日(木)	タワー111ビル 4階ギャラリー	14名
	連合富山役員と富山経協役員との懇談会		3月6日(金)	富山電気ビル	8名
	幹事会		3月6日(金)	富山電気ビル	41名
	理事会		3月6日(金)	富山電気ビル	10名
見学会	環境委員会「県内企業見学会」	環境	2月13日(木)	(株)トヨックス	17名
講座・セミナー	管理職マネジメント研修	教育	2月14日(金)～15日(土)	インテック大山研修センター	20名
	労働法実務講座<第4回>	人事・労務政策	2月19日(水)	富山経協・研修室	35名
	購買管理実践セミナー	教育	2月20日(木)	富山経協・研修室	28名
	第2回職場リーダー実践コース	教育	2月25日(火)・26日(水)	富山経協・研修室	43名

※ 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、3月、4月開催のセミナーは延期となりました。開催が決まりましたらホームページにてご案内いたします。

人事・労務政策委員会

■定例委員会

2月27日(木)、八十島委員長はじめ委員14名が出席して、タワー111ビル4Fギャラリーで開催した。

八十島委員長の挨拶後、富山県商工労働部労働政策課の辻素樹氏が「新卒者の採用活動と就活状況を考察する～定着と育成に向かって～」と題して講演した。その後、

大学等のキャリア・就職担当者9名と企業との混合で3グループに分かれ、テーマ「選択される企業と学生の秘訣～企業や学生の実態を知る～」について情報・意見交換を行い、ディスカッションした内容をグループごとに発表した。多くの討議により、大学等と企業の双方に、大きなヒントがあった



と感じた。

品質管理委員会

■定例委員会

2月26日(水)、谷川委員長はじめ委員・担当者合わせて27名が出席し、中越合金鋳工(株)で開催した。

定例委員会に先立ち、委員企業見学会を開催した。中越合金鋳工(株)本多真貴社長の挨拶の後、中田剛志品質保証部部长より会社概要、品質管理の取り組み状況について説明を受け、銅製品の鋳造工程・加工工程を見学した。同社では1978年に富山県で初のデミング

賞実施賞を受けており、全社的品質管理(TQC)を土台とした考え方に基づき、方針管理、標準化、QCサークル活動の3本柱で品質管理体制の強化を図っている。

定例委員会では、2020年度年間事業活動計画について説明し、7月と2月の定例委員会では委員企業見学会を合わせて行うこと、9月と12月の定例委員会ではグループディスカッションと懇親会を合わせて行うことなどを確認した。



また、講座・セミナー担当委員の申込み状況について報告し、委員未登録の講座もあったことから、3初旬に再案内を行うことで担当登録をお願いした。

見学会

環境委員会

■県内企業見学会

2月13日(木)、尾島委員長はじめ17名が参加して「県内企業見学会」を開催した。

(株)トヨックスの中西誠代表取締役社長の挨拶の後に、金城慶太経営企画室部長から会社概要と東日本大震災の経験を踏まえたBCP策定内容等の説明を受けた。

工場見学では、耐圧ホースの製造工程や、試験設備を備えたテク

ニカル・ラボ、ホースドクターカー、放射熱空調システム等を見学した。同社で製造している放射熱空調システムは、「冷温水」を天井内に循環させて室温を調節するため、通常の空調システムと比較し、熱の搬送電力が4分の1と高い省エネ性を誇っている。そのほか、エアコンの不快感な風や空気の汚れなどがないことから、社員の働く環境の向上にも貢献している。



見学後は、同社の環境への取り組みについて活発な質疑応答を行った。

階層別研修

■第2回職場リーダー実践コース

2月25日(火)・26日(水)、43名が参加して、富山経協・研修室で開催した。

講師の(公財)日本生産性本部主任経営コンサルタントの澤倉光仁氏が、企業や組織をとりまく環境変化と職場リーダーの果たすべき役割について講義し、活発な意見交換を通して理解を深めた。

講義では、①目標の達成に導く実践的な展開方法(PDCA手法)を修得すること、②職場リーダーとしてのリーダーシップと部下の性格等に応じた育成の考え方・スキルを身につけること、③部下育成技術としての交流分析やコーチング技法に関する理解と実践力を強化すること、④メンタルヘルスを推進する上でのリーダーシップ



発揮の要点と方法について詳しい解説があった。

労務管理

■労働法実務講座(第4回)

2月19日(水)、「募集・採用をめぐる法律と実務上の注意点」をテーマに35名が参加して、富山経協・研修室で開催した。

第一芙蓉法律事務所の木下潮音弁護士は、2020年度に大学等を卒業する新卒従業員の募集・採用については、従来、経団連が示していた指針が撤廃され、より自由化、長期化が予想されている中、①2020年度から新卒の募集・採用活動はどうなるのか、②募集・採用

に当たり企業が遵守すべき法令、③募集・採用に関する個人情報の取り扱い、④募集・採用とハラスメント問題、⑤内々定・内定の取り扱い、⑥内定取り消しが可能となるのはどのような場合か、⑥最近の募集・採用に関する裁判例等の取り組みについて、2020年度活動開始を前に改めて法律と実務上の問題点を整理して、これまでの経験を踏まえた具体例を交えながら解説した。

受講者からは、具体的な事例が



多く非常にわかりやすかった等の声が聞かれた。

購買管理

■購買管理実践セミナー

2月20日(木)、28名が参加して、富山経協・研修室で開催した。

「求められる購買実務の方向性とその展開」について、(公財)日本生産性本部主席経営コンサルタントの藤本忠司氏は、外部環境が大きく変化して売上の伸ばすことが難しくなる中で、購買・調達部門に求められる役割は高度化・多様化しており、単なる調達を行う

だけの部門ではなく、生産性の向上、販売拡大に貢献する利益貢献部門となることが期待されているとした上で、調達機能の評価方法や調達改革を進める方法について、具体的な成功事例・失敗事例を交えて解説した。

講義に加え、調達コスト削減のための適正価格を検討するワーク等も行い、購買・調達部門の役割の大きさを再認識した。



新会員の紹介

(50音順)

■ 大成ロテック株式会社 富山営業所

所在地 富山市磯部町1-5-13
代表者 営業所長 西塚 正之
設立 1961年(昭和36年)6月15日
資本金 113億5,000万円
従業員 5名(富山県内)
事業内容 舗装工事・土木工事の設計・施工・監理、建築工事、アスファルト合材の製造・販売など



■ 株式会社プレステージ・インターナショナル 富山BPOタウン

所在地 射水市黒河846-1
代表者 センター長 門山 雅一
設立 1986年(昭和61年)10月
資本金 14億8,666万円
従業員 496名(富山県内)
事業内容 コンタクトセンター業務全般(カスタマーサポート、ヘルプデスク他)

■ 所在地変更

北陸プラントサービス株式会社 (前:北陸発電工事株)
富山市草島字鶴田1番1 (前:富山市草島字亀田102番4)

会員の動き

(50音順)(敬称略)

■ 代表者の変更(窓口代表者)

立山製紙株式会社
代表取締役社長 杉木 智一(前:増田基由)
株式会社東芝 北陸支社
支社長 丹羽 賢士(前:木山 泰)
日産化学株式会社 富山工場
執行役員工場長 高子 康(前:西田雄二)
日本高周波鋼業株式会社
取締役富山製造所長 定村 剛(前:堀川健一)
野村證券株式会社 富山支店
支店長 依藤 慶太(前:前 直裕)
北陸コカ・コーラプロダクツ株式会社
代表取締役社長 釣谷伊智郎(前:百瀬邦夫)

■ 社名の変更

損害保険ジャパン株式会社 富山支店
(前:損害保険ジャパン日本興亜株式会社 富山支店)
北陸プラントサービス株式会社
(前:北陸発電工事株式会社)
三谷産業株式会社 空調システム事業部 富山支店
(前:三谷産業株式会社 空調事業部 富山支店)



表紙の花
サクラソウ

(富山県中央植物園 中田政司)

江戸時代からの伝統園芸植物

サクラの花の時期にサクラに似た形の花を咲かせることからサクラソウ(桜草)と名前がつけられました。園芸的には、外国産のサクラソウ類(プリムラ)と区別するために「日本桜草」と呼ぶこともあります。

日本各地の原野や川辺の湿地に自生し、時に群生することから古くから親しまれ、江戸時代には荒川沿いで桜草の花見や桜草狩りが行なわれていた記録があります。二代将軍徳川秀忠が戸田ヶ原に鷹狩りに出向いた時に桜草に興味を示し、お供の者が持ち帰って鉢植えにしたのが桜草栽培の始まりとされ、以来大名から庶民まで広く普及し多くの園芸品種が作られました。この絵は江戸中期の『地錦抄附録(ちきんしょうふろく)』に図示された「なんきん小桜」で、現在も品種として残っており、実際の花は赤紫

色の花に周囲が白く縁取られています。江戸末期の『桜草名寄控(さくらそうなよせひかえ)』には268もの品種が掲載されています。

現在は絶滅危惧植物

野生のサクラソウは、土地開発による自生地の消失に加え、明治後半から昭和初期の桜草栽培の隆盛の陰で大量に盗掘され、絶滅危惧植物として保護されるようになりました。埼玉県の「田島ヶ原サクラソウ自生地」は国の特別天然記念物に指定されています。

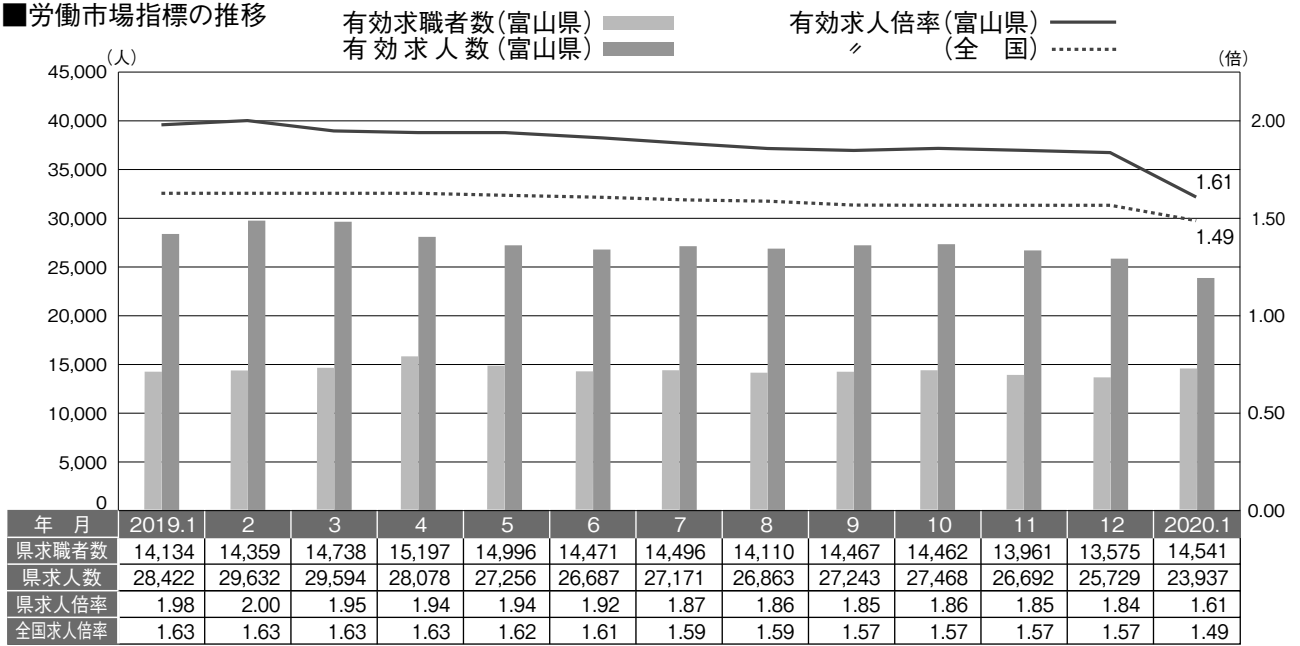
残念ながら富山県の川辺にサクラソウの自生はありませんが、山では同じ仲間のオオサクラソウやハクサンコザクラ、ユキワリソウなどを高山植物として見るができます。



江戸期からの品種「南京小桜」
(『地錦抄附録』より)

労働指標

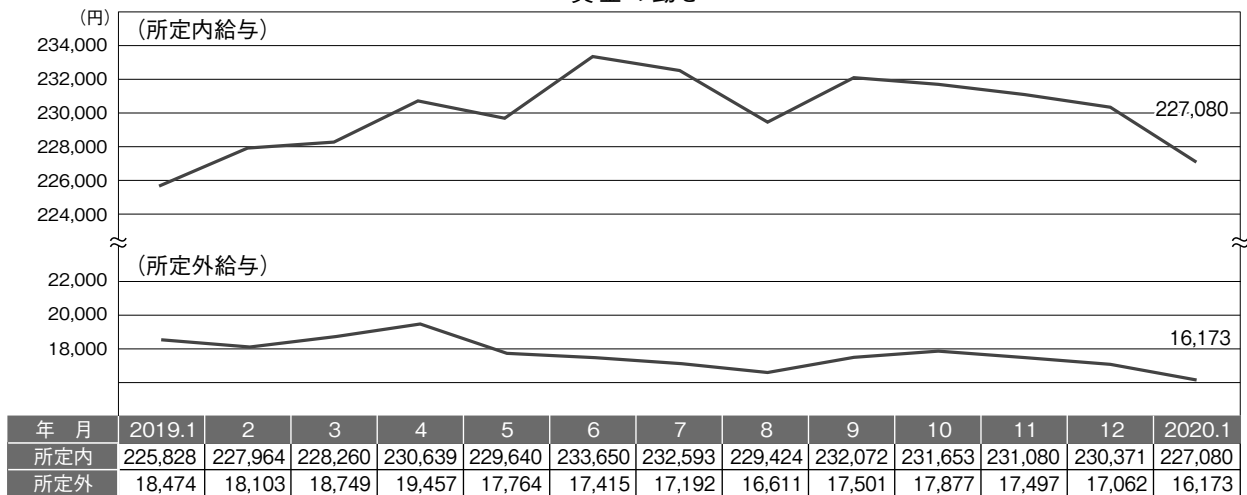
労働市場指標の推移



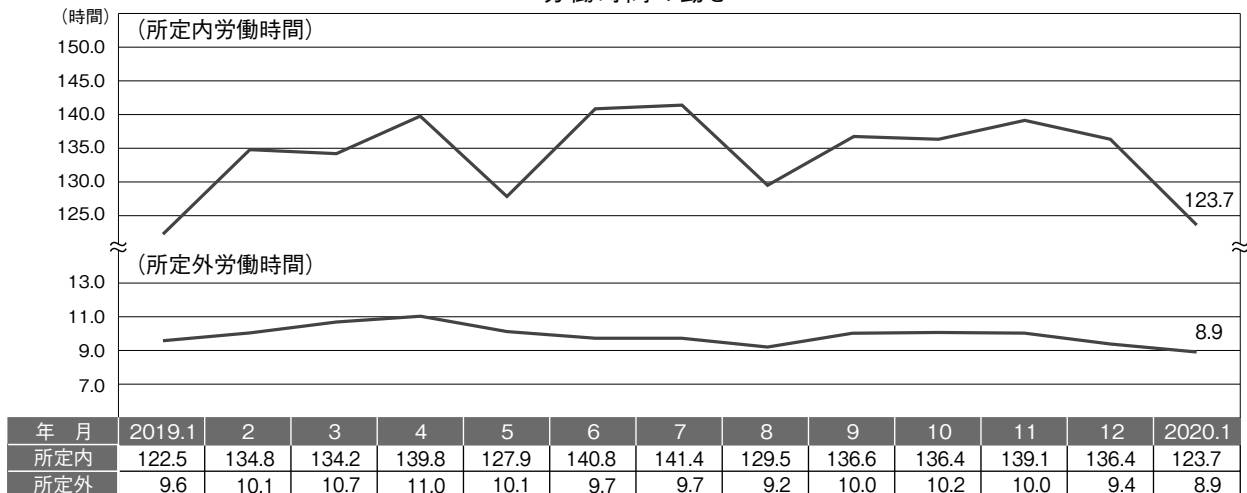
出典：富山労働局「労働市場月報」https://jsite.mhlw.go.jp/toyama-roudoukyoku/jirei_toukei/shokugyou_shoukai/toukei.html

賃金・労働時間の動き(調査産業計、事業所規模：5人以上)

賃金の動き



労働時間の動き



出典：とやま統計ワールド「毎月勤労統計調査 地方調査月報」<http://www.pref.toyama.jp/sections/1015/lib/maikin/index.html>

5月26日(火)

一般社団法人 富山県経営者協会
第75回 定時総会

15:30～16:00 定時総会〈富山国際会議場 2階〉

16:20～17:50 講演会〈富山国際会議場 3階メインホール〉

演題 『働き方改革にどう取り組むか』

講師：株式会社 日本総合研究所
副理事長 山田 久 氏※ 講演会は規模を縮小して開催の予定です。
なお、懇親会は新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止といたします。

事業予定

2020年 4月16日～6月15日

詳しくはホームページ(<https://www.toyama-keikyo.jp/>)
「講座・セミナー案内」をご覧ください。

	開催日	時間	事業名	委員会名	場所
会 議	4月20日(月)	15:00～16:00	人事・労務政策委員会「幹事会」	人事・労務政策	タワー111ビル 3階会議室
	4月20日(月)	16:30～17:30	理事会		富山経協・研修室
	4月24日(金)	15:30～17:00	品質管理委員会「幹事会」		富山経協・研修室
	5月18日(月)	16:00～17:15	経営企画・IT委員会「定例委員会」	経営企画・IT	富山経協・研修室
	5月26日(火)	15:30～17:50	定時総会、講演会 <small>上記「おしらせ」参照</small>		富山国際会議場
	5月26日(火)	16:00～16:10	理事会		富山国際会議場
講 座 ・ セ ミ ナ ー	4月16日(木)・23日(木) 5月14日(木)	開催延期	品質管理入門講座<基礎編>	品質管理	富山経協・研修室 タワー111ビル 21階会議室
	4月21日(火)・22日(水)	開催延期	営業力基礎セミナー	教育	富山経協・研修室
	4月23日(木)	開催延期	管理職マネジメント研修	教育	タワー111ビル 21階会議室
	5月12日(火)	開催延期	仕事の基本「報連相」セミナー	教育	富山経協・研修室
	5月14日(木)	開催延期	人事・労務管理セミナー<第1回>	人事・労務政策	富山経協・研修室
	5月15日(金)～16日(土)	開催延期	管理職マネジメント研修	教育	インテック大山研修センター
	5月19日(火)・20日(水)	開催延期	【A日程】職場リーダー基本コース	教育	富山経協・研修室
	5月21日(木)・22日(金)	開催延期	【B日程】職場リーダー基本コース	教育	富山経協・研修室
	5月28日(木) 6月11日(木)	開催延期	実践しながら学ぶ統計的手法活用講座	品質管理	富山経協・研修室
	6月 2日(火)	15:30～16:30	好印象を与えるコミュニケーション力向上セミナー	教育	富山経協・研修室
	6月 3日(水)・4日(木)	9:00～17:00	ヒューマンエラー対策講座<実践編>	品質管理	富山経協・研修室
	6月 9日(火)～10日(水)	9:00～16:30	ものづくりと現場改善実践セミナー	品質管理	インテック大山研修センター
6月10日(水)	13:30～16:00	労働法実務講座<第1回>	人事・労務政策	富山経協・研修室	

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、予定している事業（会議、講座・セミナー等）を延期または中止させていただく場合もございます。その際はホームページにてご案内いたします。

「富山経協」vol.853

2020年(令和2年)4月号
2020年4月15日発行(隔月発行)

一般社団法人 富山県経営者協会

〒930-0856 富山市牛島新町5番5号(タワー111ビル 1階)
TEL (076) 441-9588 FAX (076) 441-9952
ホームページ <https://www.toyama-keikyo.jp/>
Eメール info@toyama-keikyo.jp